

### おもしろい紙のはなし

小宮 英俊著

東京 第一法規発行 1990. 9

467P ¥3500

本書は「紙の博物館」に勤務する著者が、紙にまつわる様々な話題をとりあげ解説したもので、多くの図版を用いて分かりやすく記述されている。日常、紙に取り囲まれて生活していることを改めて認識させられる好書である。勿論研究書ではないが、内容は科学的な考察も含み、けっして興味本位なものではない。著者は、「紙について興味や関心を少しでも高めていただければ幸である。」(はじめに)と述べているが、その目的は十分達せられるものであろう。

まず、始めに「紙が発明されるまでの書写材料」として、パピルス、粘土板、木簡・竹簡、パーチメントをとりあげ、次に「紙とはなんだろう」、「紙の作りかたの基本」など易しく紙の基本を教えてくれる。その他<紙を見分ける><紙の性質><コンピュータ時代の紙>そして剥離紙、芳香紙、安全紙等々様々な種類の紙について教えてくれる。本書は肩の張らない読み物として、また紙の常識を知るうえでも大いに参考になろう。

佐藤 勝巳・戸田市教育委員会

